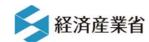
平成24 年度 第6 回 製品安全対策優良企業表彰



受賞企業紹介



経済産業省では、製品安全対策優良企業を表彰しています。

経済産業省では、製品安全に積極的に取り組んでいる企業を企業単位で公募し、厳正な審査の上、該当企業には、「製品安全対策優良企業」として表彰を行っています。表彰を通じて、製品安全に対する意識の向上と製品安全文化の定着を図り、持続的に製品安全が確保されるような安全・安心な社会を作ることを目的としています。

■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

ご挨拶

初めて「製品安全対策優良企業表彰」という名称を見聞きしたときに、安全なモノづくり企業を表彰する制度だと思われる消費者もいるでしょう。企業として製品事故を防ぐために、もちろん製品自体の安全性を高めるための体制・仕組み・技術は大切ですが、商品選択の多様化や高齢化社会の進展により、ユーザーに安全に使ってもらうための活動や、用途・使用環境に適した製品を選んでもらうための情報提供など、別の側面の取り組みの重要性も増してきました。

6回目を迎えた本表彰制度も、当初は製造・輸入事業者部門の応募が多かったのですが、メーカーと消費者の間の橋渡し役である流通事業者の関心も徐々に高まり、小売販売事業者部門の応募企業数が増えてきました。また、審査を通じて、サプライチェーンの上流・下流の双方に対する流通事業者の取り組みは、幅広さ、深さともに充実し、レベルが上がってきているように感じます。より消費者に近い立場である流通事業者に本表彰制度の輪が広がってきたのは良いことであり、さらにその輪が消費者にも広がっていけば、と思います。

製品安全に積極的に取り組んでいる企業は高く評価されるべきで、消費者はその企業を製品購入や株式購入などの形で応援することができます。安全向上への企業努力と企業への称賛のスパイラルを回すことが、製品安全文化を社会に根付かせるはずです。企業にとって優良企業表彰が目標や励みになり、消費者にとって優れた企業を知るきっかけの一つになるよう、この表彰制度が社会に普及していくことを願っています。

製品安全対策優良企業表彰 審査委員会委員長 向殿 政男 (明治大学 理工学部情報科学科 教授)

製品安全対策優良企業表彰の審査概要

本年度の審査は、書類審査、プレゼンテーション審査、ヒアリング調査で構成しました。審査にあたっては「安全な製品を製造(仕入れ・販売)するための取り組み」「製品を安全に使用してもらうための取り組み」「出荷後に安全上の問題が判明した際の取り組み(事故やリコール等が起きた際の取り組み)」「製品安全文化構築への取り組み」の4つの視点から評価を行いました。

一次審査では、申請用紙 (「製品安全活動記述シート」) による書類審査を行い、企業の製品安全 に関する取り組みについて評価しました。 応募企業の業種は、家電、日用品、家具、住宅設備機器、 衣料品など多岐にわたりました。

二次審査では、一次審査を通過した企業を対象として、プレゼンテーション審査を行いました。プレゼンテーション審査では、各社が特にアピールしたい製品安全に関する取り組みを紹介していただきました。また、プレゼンテーション審査で紹介していただいた取り組み内容を確認するため、審査委員が各社に訪問し、ヒアリングを実施しました。

最終審査では、プレゼンテーション審査とヒアリング調査の結果を基に協議を行い、最終的に受賞 企業13社を選出するに至りました。





大企業 製造事業者・輸入事業者部門

株式会社 バンダイ

http://www.bandai.co.jp/



■事業内容: 玩具、模型、玩具菓子、自販機商品、アパレル、生活関連用品などの

企画・製造・販売

■所在地:東京都台東区 ■設立:1950年

■代表者:代表取締役社長 上野 和典 ■従業員数:1,218名[2012年4月現在]

受賞企業コメント

弊社製品の主要なユーザーは、安全なことと危険なことを区別していただけないお子様です。 そのため 「誤使用」を前提とした 「バンダイ品 質基準 | の設定に加え、生産工場の積極的なモニタリングなどの取り組みを実施してまいりました。

しかし、2009年にロボット玩具の製品事故が発生し、製品安全の考え方を再度見直す契機となりました。「バンダイ品質基準」によって、 本当に安全性の確保ができているのか、その命題に腰を据えて取り組んでまいりました。R-Mapを用いてリスクアナリシスを行う手法は、 前回の審査において審査員の皆様からのアドバイスを参考にしたものであり、今回ご評価いただいた「基準による製品リスク低減効果の 分析」は、こうした経緯を経て実現に至ったものです。

安全・安心の追求には終わりはございません。再度の受賞を励みに、今後も一歩一歩前進していきたいと思います。

受賞ポイント

自社独自の品質・安全基準を策定・運用し、 基準の製品リスク低減効果を分析

各種法律、業界基準、海外の規格・基準、 過去の事故事例等を踏まえた約370項目に 及ぶ『バンダイ品質基準』を策定・運用して いる。また『バンダイ品質基準』による製品リ スクの低減効果をR-Mapを用いて分析して いる。

安全な製品を製造するための取組み

バンダイ品質基準

独自の品質・安全基準を策定・運用し、 製品リスク低減効果を分析













誤使用を想定した玩具の落下試験

協力メーカーを含めサプライチェーン全体で 製品安全文化を醸成

危機管理意識を高めることを目的として、過去の製品事故から学ぶ フォーラムを開催。自社・他社製品の問題事例の現物展示等を行 う『製品安全を考える展示会』などを開催し、協力メーカーを含めサプ ライチェーン全体で安全意識の向上に積極的に取り組んでいる。

子どもに安全に遊んでもらうための 安全情報の提供

取扱説明書や『Webトリセツ』等において、わかりやすく注 意項目を伝える工夫を行い、自社ホームページにおいて保 護者向けに『おもちゃ安全ガイド』を公開するなど、子ども に安全に遊んでもらうための情報提供に努めている。

担当者のことば

前回(2008年)の受賞後、数多くの団体・企業の皆様からお声掛けをいただき、意見交換の機会を得ることができました。 表彰制度の最大のメリットは、交流を通じた新たな学びであったと思います。製品安全への取り組みに関して、自社や業界 内だけでは得られない様々な視点を取り入れることができました。今回の受賞ポイントの中にも、これらの情報交換から生まれ た施策が数多く含まれています。再度の受賞をきっかけに、交流の機会が拡がることを本当にうれしく思っています。 今回の応募を通じて、改めて見えた課題もございます。驕ることなく今後も真摯に製品安全に取り組んでまいります。 この度は誠にありがとうございました。



大企業 製造事業者·輸入事業者部門

株式会社 東芝

http://www.toshiba.co.jp/index_j3.htm

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

■事業内容:デジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラ、家庭電器の製造、販売

■所在地:東京都港区

■設立:1875年 ■代表者:代表執行役社長 佐々木 則夫

■従業員数:209,784名[2012年3月現在、連結]



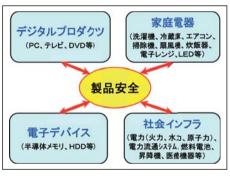
受賞企業コメント

東芝グループは、それぞれの事業で造り出される製品ごとに管理される法律も異なることから、以前から事業単位で製品安全に取り組む傾向が強くありました。個々の事業の製品において必要とされる安全対策は強化しているものの、グループ全体としての品質・安全活動の活性化が不十分でした。その中で2007年に、品質・安全の組織的な管理の強化を目指し品質統括本部が設置され、品質統括本部長(CQO:代表執行役副社長)を中心に、傘下にある全ての事業部門に対し、技術、生産と同格の立場で全てのプロセスの品質を管理する品質統括責任者(CQE)を配置する体制を構築しました。さらに、東芝グループ全体から優れた活動を発掘し、交流会を行うことでグループ全体に展開し、新たな気づきを活かして安全活動を推進しています。

受賞ポイント

1 事業間で製品安全情報を共有する取り組みを実施

事業ごとに関連法規制や製品リスクが異なる中で、各事業部門からなる『東芝グループ製品安全交流会』を新たに設置し、他事業の安全対策に関する効果的な手法を共有するなど、新たな気づきを増やす取り組みを行っている。





東芝グループ製品安全交流会の様子

2 製品不良の未然防止に向けた 評価試験を実施

パソコンやテレビの開発工程において、熱疲労シミュレーション と複合ストレス試験を併用して製品不良を予測し、事故の未 然防止を図っている。

3 品質統括責任者を中心とした 製品安全管理体制の構築

製品のライフサイクル全体の品質・安全を統括する『品質統括責任者』を事業ごとに配置し、広範な事業分野にわたって製品安全管理体制を構築するとともに、事業間の連携体制の強化を図っている。

担当者のことば



活動内容の中で、R-Map、ペルソナ手法、さらに企業が確保すべき安全モデルとして「予見可能な誤使用」を明記したOKAトライアングルなどはご存知の方も多いと思います。ところが、全グループで安全活動に携わると、事業間でつながる力は弱く、協働する作業が進まないという壁にあたりました。そこで、まずはそれぞれの事業の活動計画表とその進捗状況の共有からスタートしました。チャレンジした1年目は、当社の全体の活動が見えないとして大変厳しい評価をいただきました。ただ、これが当社にとっては大変いい励みとなり、全グループの製品安全交流会の発足と横方向の連携強化に繋がったと考えています。今後も活動の強化を図ります。



大企業 製造事業者·輸入事業者部門

トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社

http://www.triumph.com

Triumph W

- ■事業内容: インティメイト・アパレル (ファンデーション・ランジェリー等)、 紳士下着の製造、販売
- ■所在地:東京都中央区 ■設立:1964年 ■代表者:代表取締役社長 土居 健人
- ■従業員数:3,035名[2012年12月末現在]

受賞企業コメント

トリンプ・インターナショナル・ジャパンでは、お客様第一主義のもと、製品安全に対するシステムや基準の見直しを常に行ってきました。しかし、我々の行っていることについて、まだまだ改善の余地があるのではないか、よりお客様に満足していただくためにはどうしたらよいか?という疑問が常に念頭にあり、今回の応募を機に、客観的に当社のQCレベルを認識し、よりお客様に満足していただける製品安全対策の取り組みを始めました。「安全な製品を製造するための取り組み」「製品を安全に使用してもらうための取り組み」「出荷後に安全上の問題が判明した際の取り組み」「製品安全文化構築への取り組み」という4つの柱を軸に、部門を超えて一致団結して改善に取り組んだ結果、「商務流通保安審議官賞」という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。今後もこの受賞に甘んじることなく、更なる向上を目指して全社一丸となって邁進してまいります。

受賞ポイント

1 自社独自の品質・安全に関する規定を整備するとともに、 お客様の声を参考に随時規定の見直しを実施

肌の痛みや傷害につながる部位・部材の生地素材、仕様、縫製等を、マニュアルや仕様書で綿密に規定し管理している。また、お客様の声を参考に規定の内容を随時見直し・改訂している。





自社規定に基づく試験・検査の実施

2 安全な素材を使用した製品の製造・販売

トリンプブランドの製品は繊維製品の安全性に関する国際規格 「エコテックス規格100」で認証されている素材だけを採用し、 人体に対して有害でない安全な製品の提供に努めている。

3 快適で安全な製品を 選定してもらうための情報提供

身体に合った安全な製品を選定してもらうため、『3Dフィッティング』や『YSIOA』サービスでアドバイスを実施し、また、快適に長く使用してもらうため、『インナーウエアの基本』冊子を配布し説明するなどの情報提供に努めている。

担当者のことば

厳しい審査内容から、当社にはハードルが高いのでは? との不安もありましたが、「日頃の社内での取り組みを多くの方々に知っていただく良い機会では」と応募させていただきました。 女性の身体を包み素肌に直接触れる下着は、そもそも安全でなければならない使命を帯びています。 幸いにも当社は、他社に先駆けて、人体に危険であろうと思われる規制物質を一切排除した素材のみを使用してものづくりを行う「エコテックス規格 100」認証のルールを導入してきました。 この取り組みを核に、マニュアルや仕様の見直し、クレームゼロへの取り組みなどを強みとして臨みました。 栄えある「商務流通保安審議官賞」をいただき、社員一同より一層気を引き締めてお客様の安全と信頼第一の商品作りに努めていきたいと思っております。



優良賞

大企業 製造事業者·輸入事業者部門

ミーレ・ジャパン 株式会社

http://www.miele.co.jp/

Miele

■事業内容:家電機器(掃除機、食洗機、ランドリー機器等)および業務用機器 (洗浄機、洗濯脱水機等)の輸入、販売

■所在地:東京都目黒区 ■設立:1992年 ■代表者:代表取締役 松原 秀樹

■従業員数:63名[2012年9月現在]



受賞企業コメント

ミーレ・ドイツは、1899年創業以来のスローガン「Immer Besser(常により良いものを)」のもと、一世紀以上にわたり「機能・デザイン・安全・環境」に優れた製品を生み出してまいりました。ミーレ・ジャパンはその日本法人で、創立21年を迎えます。安心・安全にお使いいただけることを第一に、使用20年を想定した厳しい品質テストに合格した製品のみ、お客様へお届けしております。また、コンタクトセンターには男性技術者を配置、補修部品は製造終了後15年保有など、顧客対応の高品質も実現すべくご購入後のフォローにも力を注いでおります。このたびは公の名誉ある賞をいただけたこと、大変うれしく励みになりました。この賞に恥じないよう、安全対策の向上をめざして一層の改善に取り組み、また数ある家電メーカー製品の中から、当社製品をお選びいただいたお客様のためにも、さらに「常によりよいもの」をご提供、末長くおつきあいいただければと思っています。

受賞ポイント

1 日本の使用環境を考慮した製品の評価・選定等を実施

日本の使用環境を考慮した製品の評価・ 選定を行うとともに、Sマークの取得、出荷 前の全数検査等を徹底している。また、 日本向けの使用方法を記載した『クイック ガイド』の作成、注意喚起チラシの製品貼 付など、誤使用対策にも努めている。



出荷前検査の実施



『クイックガイド』

2 迅速・確実なアフターサービス体制の構築

技術部門が管理するカスタマーサービス・サポート体制を構築して、技術者主導により、設置・施工に伴う事故の予防や、 迅速・確実なアフターサービスの提供に努めている。

3 安全性に関する情報や問題点を多国間で共有

世界各国のミーレ法人の技術者が共有する『ブルテンボード (修理、安全性に関する世界共通のデータベース)』を通じて、 日本で発生した問題をフィードバックするとともに、他国で発生 した問題の収集を行っている。

担当者のことば



今後は「いかにお客様にご満足いただけるか」が重要なキーとなってきます。高級家電をお求めいただくお客様がお持ちの「プラスアルファ」のご期待にお応えできるよう、クレームも含めたダイレクトなお声を聞ける環境を作り、「やっぱりミーレを選んでよかった」と思っていただくことが私たちの仕事です。もし迷っておられたら、ぜひ応募して下さい。有識者の皆様に審査・評価いただける、またとない機会です。受賞の知らせを受けたときの喜びは、何にも代えがたい達成感がありました。また、私たちだけでは気づきえない視点でのご指摘を即実行した結果、早い段階での改善につながったことにも心より感謝申し上げます。



大企業 小売販売事業者部門

上新電機株式会社

http://www.joshin.co.jp/

Joshin

- ■事業内容:家電製品、情報通信機器、エンターテインメント商品、住宅設備機器等の 販売と附帯事業
- ■所在地:大阪府大阪市 ■設立:1950年 ■代表者:代表取締役社長 中嶋 克彦
- ■従業員数:2.841名[2012年4月現在]

受賞企業コメント

弊社は創業以来、一貫して「まごころサービス」をキャッチフレーズにCSR経営を標榜してきました。そのひとつとして1956年には、業界に先駆けてアフターサービス部門を設立。「商品ご購入のお客様に最後まで安心して使用いただくことは小売店の務めだ」という理念に基づく体制の整備に努めてきました。この部門は、現在、500余名の技術スタッフを擁する連結子会社に成長しております。 製品安全に関わる取り組みは、製品の仕入、販売、アフターサービスと、グループ全社が関わる横断的なマネジメントシステムでありますので、常に改善・改良を重ねつつグループー丸となって取り組んでおります。

弊社は製品安全対策優良企業として「経済産業大臣賞」を2008年度、2010年度、2012年度と3連続受賞することができましたが、 受賞の重みを深く受けとめ、製品安全文化の醸成と安心・安全な社会づくりのため、社員一同、更なる努力を続けてまいります。

受賞ポイント

1 設置作業不備による製品事故を防止するため社内外におけるトレーニングの実施

自社技術研修センター内に商品搬入設置・ 工事等の教育訓練用ハウスを開設し、自社 の社員だけでなく協力会社の社員に対して もトレーニングを実施して、設置作業不備に よる製品事故の防止に努めている。





自社技術研修センターでのトレーニングの様子

2 製品毎に故障特性を分析し、 メーカーに製品の改善を提案

自社の修理履歴データに基づいて製品毎の故障特性を分析し、その分析結果を踏まえた製品の改善提案をメーカーに 伝達するなど、メーカーの製品開発・改良に協力し、製品安全 の確保に貢献している。

3 リコール告知の効果を高める アイデアをメーカーに提供

様々な家電製品のリコール対応支援の経験をもとに、効果的なリコール告知の方法等に関するアイデアを取引先に 積極的に提供し、リコール製品の回収率向上に貢献している。

担当者のことば

製品安全の取り組みは、商品の仕入を担当する部門、お客様に販売する部門、顧客データを管理する部門、修理・工事等アフターサービスの担当部門、それぞれが互いに情報を共有し連携しなければ、迅速かつ適切な対応ができません。お客様の安心・安全のため、各部門が当たり前のこととして日々取り組んできたこれらの活動が、「経済産業大臣賞」受賞 (2008、2010、2012年度)というかたちで高く評価されたことは、グループ全従業員の大きな励みになるとともに、3連続受賞の重みに身の引き締まる思いで一杯です。審査員の皆様からいただいた貴重なご意見やアドバイスを今後の課題として、ステークホルダーの皆様との情報共有など、これからも製品安全文化の構築に向けたチャレンジを継続してまいります。



大企業 小売販売事業者部門

株式会社 チヨダ

http://www.chiyodagrp.co.jp



デ 株式会社 チョダ

■事業内容: 紳士靴・婦人靴・スニーカー等の販売

■所在地:東京都杉並区

■設立:1936年 ■代表者:代表取締役社長 舟橋 政男

■従業員数:1,700名[2012年11月現在]



受賞企業コメント

当社は1936年の創業以来、靴専門店として1足の靴からはじまる「靴のチカラ」を大切にし、オリジナルブランドの機能・品質・価値を 含めた製品の積極的な開発やサービスなど、真摯な姿勢で全国1100店舗を超えるシューズチェーンとして成長してまいりました。 この度、製品安全対策優良企業として栄えある賞を受賞することができましたが、様々なブランドを販売する小売事業者として、製品安全 を実現していくためには全てのお取引先様の協力や大切なお客様の声無くしては成しえないと考えます。小売販売事業者部門において は靴業界で初めていただいたこの製品安全対策優良企業表彰の重みを従業員全てが深く受け止め、お客様の生活に密着し、皆さまに喜 ばれる安全で安心してご利用いただける製品をご提供できる企業として、更なる進化を続けてまいります。

受賞ポイント

独自の不良分析手法により製品不良の発生源を特定して、 メーカーの品質改善に協力

品質不良削減のために独自の不良分析 方法を確立し、不良分析を実施している。 製品不良の発生源を特定して製造・卸事 業者に情報を提供し、品質改善に繋げて いる。

チョダ式 PS (Product Safety) マトリックス

①x2のマトリックスにはめ込み、「発生原因&流出原因」を特定 不良発生源を突き止めるツール



サプライチェーン全体の製品安全活動



靴業界全体を巻き込んだ 製品安全活動の推進

自社主催の『安全品質向上ミーティング』において、参加す る商社・工場・素材メーカーに不具合解析情報や安全品質 基準を共有するなど、サプライチェーン全体の製品安全活動 の改善に取り組んでいる。

全店舗の販売スタッフへの安全教育の実施

販売スタッフ教育に用いる「WEB学習サイト (eラーニング) システムを構築している。さらに、販売スタッフ教育に用いた 動画の一部を全店頭で放映し、製品の選び方・フィッティン グ・お手入れなどの情報を消費者にも発信している。

担当者のことば



数年前は、小売業の弊社がサプライチェーンでは川上にある製造品質について詳しく吟味することは難しいことでした。 しかし、よりお客様に近い情報を持ち1足1足販売をしている弊社店頭の声や独自のPB製品開発を通して、サプライチェー ンとの品質確認体制を作ることができてきました。3年前よりお取引先様と一体となり取り組んでいる製品不良分析、それを 基にした「品質安全向上ミーティング」での問題点共有、品質機能指針の確立など様々な課題に継続して取り組んでいます。 独自の問題分析PSマトリックス手法、店頭POP、ラーニングシステム、販売スタッフの努力等、全社的取り組みへの好 評価をうれしく思います。この受賞をバネに今後ともお客様に快適で安全な製品をお届けしていきたいと考えています。



大企業 小売販売事業者部門

パナホーム株式会社

http://www.panahome.jp/

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome

■事業内容:戸建住宅・賃貸集合住宅などの建築工事、リフォーム工事の請負および施工等

■所在地:大阪府豊中市

■設立:1963年 ■代表者:代表取締役社長 藤井 康照

■従業員数:5,099名[2012年3月現在]

受賞企業コメント

パナホームはパナソニックグループの住宅会社であり、創業者松下幸之助の家づくりへの思いを原点にお客様お一人おひとりのくらしの夢にお応えいたします。 具体的には、生涯にわたってお客様にご満足いただけるよう家族の幸せを願って住まいをご提供することで、お客様が描くくらしの夢を一緒にかたちにしています。 住まいは、長く快適に安心してエコにくらせることが必要ですが、その中でも特に「安全・安心」であることは何よりも優先されなければなりません。

住宅会社として資材の調達先や施工会社等多様な協力会社との連携が求められる中、当社の品質管理の仕組み(重点調達先の管理、新デザインレビュー体制の構築、品質・環境マネジメントシステムの構築等)による住宅製品の安全確保の取り組みが、製品安全対策優良企業として栄えある賞を受賞できました。これからも更に「安全・安心」を進化させ、お客様満足向上につなげてまいります。

受賞ポイント

1 調達品の製品安全に関する評価の徹底

製品事故を未然に防止するため、デザインレビュー (設計審査)実施時に「製品安全」の分科会を 開催し、仕入先・施工業者および調達品の製品 安全に関する評価を実施している。また、調達品 に変更が生じた際にも必ず安全性の評価を実施 している。







DR会議・現場確認の様子

2 住宅引き渡し時にお客様へ安全情報を提供

住宅引渡し時に、住宅内の個々の製品の安全な使い方などを 懇切丁寧に説明してお客様に確認を求めるとともに、住宅全般 に係わる取扱いや安全情報を紹介した『住まいの手帳』『住ま いの手帳 DVD』を渡して、製品事故の未然防止に努めている。

お客様の声を収集・分析して 仕入先に製品の改善を提案

お客様から寄せられる相談や、定期訪問・点検活動で得られた製品の不具合情報を収集・分析し、仕入れ先の製品開発・改良に役立てている。

担当者のことば

当社は2002年10月にそれまでの住宅部材メーカーから販売・施工・アフターサービス機能を含めた住宅会社となり、住宅会社にふさわしい「製品安全・品質管理の仕組み」を構築してきました。特に2010年には、品質問題の未然防止を目的とした機能別デザインレビュー (設計審査)の仕組みを導入し、消費生活用製品(住宅設備など)の採用・アフターサービスを含む安全・品質の評価を充実してきました。今回の応募で自社の取り組みレベルを客観的に知ることができ、関連部署メンバーの自信にもつながり、今後の課題も明確になって非常に有益であったと感じております。今回の受賞を機に、住宅業界で他社の模範となるような「製品安全文化の構築」に注力してまいります。



優良賞

大企業 小売販売事業者部門

株式会社ディノス

http://www.dinos.co.jp/



■事業内容:通信販売事業(カタログ・地上波・BS 放送・インターネット・雑誌・新聞他)、 直販事業(催事・店舗)

■所在地:東京都中野区 ■設立:1971年 ■代表者:代表取締役社長 石川 順一

■従業員数:342名[2012年12月現在]



受賞企業コメント

私ども株式会社ディノスは、このたび「優良賞」を受賞いたしました。以前から当表彰制度は存じ上げておりましたが、弊社が昨年度を「品質向上の年」と定め品質向上委員会を立ち上げたことを機に、初めて応募いたしました。最初の挑戦でこのような賞をいただくことは大変名誉なことであり、身が引き締まる思いであります。

弊社は41年前、テレビショッピングからスタートした通信販売企業です。公共の電波を使い、広く宣伝して販売をする責任において、商品の品質・安全性には細心の注意を払っておりますが、なにか不具合や事故が発生した場合にも、迅速な対応、きめ細かい対処に注力しております。 今後も最善を尽くし、さらに上位の賞をいただけるよう努力していきたいと考えております。

受賞ポイント

1 『ディノススタンダード』に基づく安全な製品の選定

テレビショッピング開始当時の是非の論議を 踏まえ、公的基準やディノス独自の品質基 準に照らして、製品を選定している。安全が 特に求められる美容・健康商品については、 第三者機関での試験や、社内モニターによ る安全性評価を実施している。





『ディノススタンダード』に基づく耐荷重試験を実施

2 様々な方法を用いて 注意事項に関する情報を発信

お客様が製品を使用するにあたって、特に注意してもらいたい事項については、取扱説明書とは別に注意喚起文書を作成し製品に同梱するとともに、ホームページやカタログなどで補足説明や注意喚起を行っている。

3 製品事故・ヒヤリハット情報を 迅速に社内に伝達

コールセンターにおいて製品安全に関する『重要キーワード 集』を共有し、消費者から寄せられた製品事故やヒヤリハット の情報を見落とすことなく迅速に担当者に伝達する仕組みを 構築している。

担当者のことば



今回の受賞に際し、これまでの取り組みに対して評価していただけたことが、とてもうれしく自信にもつながりました。また審査員の皆様からのアドバイスも、弊社の今後の製品安全対策にとって有益なものであり、大変ありがたいものでした。 応募した直後を振り返りますと、自社の取り組みをこのような形で公開・発表することが初めての体験であるため、正しいのか間違っているのか、十分なのか足りないのか等々とても不安だったことが思い出されます。 しかし今回、自社の製品安全対策および品質管理体制について総合的・時系列的に把握することができ、今後も総合通販会社として広く満遍なく安全対策を検討・実施し続けたいと考えております。



中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

日進木工株式会社

http://nissin-mokkou.co.jp



■事業内容: 木製洋家具(ダイニング用・リビング用イス、テーブル、ボード等)の 製造、販売および文化財(建具等)の復元・修復

■所在地: 岐阜県高山市 ■設立: 1946年 ■代表者: 代表取締役 北村 斉

■従業員数:123名[2012年9月現在]

受賞企業コメント

「木製家具製品の安全確保」のために、木材の「目利き」と乾燥、適材適所の選別が重要です。さらに曲げ木技術や接合技術、文化財の復元・修復など、地域資源である「飛騨の匠」の伝統技術を機械加工と手加工のベストミックスにより複合的・重層的な利活用と、その裏付けとして公的機関の世界基準に基づいた耐久性試験を経て「軽くて丈夫、安全なイス」を66年の歳月をかけて実現しました。 社長を中心に安全なものづくりに対する認識を全社員に徹底すると同時に、低廉な輸入家具との価格競争に巻き込まれない差別的優位性を確保するために「飛騨の家具」ブランド強化を目指し、認証基準要綱の策定に深く関与し、純国産、合法木材、品質(法令遵守)、10年保証、デザイン、環境の6つの基準で商品認定企業制度を確立しました。 昨年6月には消費者向け小冊子 「飛騨の家具ものがたり」を発刊、その中で「飛騨の家具 安心・安全宣言」を発表しました。 産地ブランド化はこれで完了ということはなく、製品安全文化の醸成に向けて前進していきます。

受賞ポイント

1 製造技術と強度試験の両輪による イスを中心とした安全性の高い製品の製造

木材の選定、乾燥、曲げ木に関する知見・技術や、接合に関する伝統技法を蓄積し、軽いが丈夫で、安全な製品の開発・製造を実現している。これら技術の裏付けとして、生産過程では耐久性試験を複数回実施するなど強度の確認を徹底している。



全 産地ブランドを主導し 製品安全文化の醸成に貢献

DESIGN from HIDA 飛騨の家具

社長を中心に安全なものづくりに対する方向性や課題を全社 員に共有・徹底するにとどまらず、産地ブランドの認証基準要 綱の策定に深く関与するなど、安全・安心な家具の提供に努 めている。

3 安全に長く使ってもらう設計思想と 長期保証の提供

製品を安全に長く使ってもらうため、顧客情報の把握・管理をするとともに、組織的に修理対応が可能な体制の整備、修理しやすい構造に随時見直しを行う等により、顧客に対して長期の製品保証を提供している。

担当者のことば

中部経済産業局から応募要領が送られ、応募説明会で審査基準の「4つの視点」と受賞企業の講演をお聞きして応募をあきらめかけましたが、創業66年の実績や製品の安全に対する社内体制の現状を点検する良い機会として捉え、問題があれば改善し、ものづくりの方向性を明確なものにするために、受賞することが目的ではなく、応募に挑戦することに意義があると考え直しました。ですから、経済産業大臣賞の受賞はたいへん名誉なことであり、全社員への意識高揚に大きな影響力を与えました。産地ブランドと企業ブランドは車の両輪として、その両立と連動性を確立するべく前進してまいります。審査委員の皆様からの貴重なご評価をいただき、今後はそれを課題としてより一層の「安全な家具づくり」を目指してまいります。



中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

カリモク家具株式会社

http://www.karimoku.co.jp/

カリモリ家具

■事業内容: 木製家具(リビング、ダイニング、ベッド、学習机・棚等)の製造、卸売

■所在地:愛知県知多郡東浦町

■設立:1947年 ■代表者:取締役社長 加藤 英樹

■従業員数:890名[2012年4月現在]



受賞企業コメント

「100歳の木を使うなら、その年輪にふさわしい家具を作りたい」その想いを支えてきたのは、1940年の創業以来、変わらず受け継がれて きた「品質至上」の精神です。デザイン・利便性も大事な要素ではありますが、木製家具による、くつろぎ感や長年使用する中で、安全に 安心して使用できる家具づくりへの取り組みに対し、今回の「商務流通保安審議官賞」を受賞できたことは今後の取り組みへのさらなる励 みとなります。受賞のポイントにもありますように、自社独自の設計基準や試験規格・基準をもとに、製品化をする前には、製品安全に関 わる徹底した確認検証試験の繰り返し実施を行うことにより、初期の不具合や長期使用による不具合検証を実施しています。

何よりも、会社トップが先頭に立った製品安全に対する取り組み体制のもとに、今回の受賞に甘んずることなく、今後も製品安全の文化 構築へ向けて、誠実にさらなる努力をしてまいります。

受賞ポイント

自社独自の設計基準、試験規格・基準を策定して製品の安全性を検証

国内外の規格をベースに、製品安全に 関する設計基準や各種試験規格・基 準を独自に設定している。製品事故防 止のための追加試験を実施し、耐久性、 転倒性などの安全性を検証している。 (現在、独自規格であるKGIS(カリモク グループ工業規格) は、8規程・214 項目・719規定、基準、手続き書類に 集約されている。)



[KGIS]



落下荷重試験



モタレ繰返試験



耐震性試験

製品特性に合わせて 表示等による注意喚起を実施

電気部品が付属する机など製品の特性によって、取扱い 上の注意喚起などが必要な場合は、標準の組立説明書、 取扱説明書に加えて、下げ札・警告紙などを商品に貼付 して、事故予防に努めている。

消費者の声を収集・分析して 製品の安全対策に活用

自社の展示会や耐震セミナーなどを通じて、製品の正しい設置方 法や取扱い方法について消費者に情報提供し、また消費者の 意見を収集している。こうした消費者の声を参考にして、製品に 様々な安全対策(転倒、落下、飛び出し等の防止)を施している。

担当者のことば



お客様に身近でご使用いただいている我社の木製家具において、多くの木材が使用されており自然界を生き抜いてきた本来 もっている強みを活かし、また木材であるがゆえの弱みを補うための加工方法をもとに製品化しています。 家具の安全性という ものに関して、今回のプログラムを通じて、客観的な視点で弊社の製品安全の取り組み内容・取り組み体制を評価していた だき、現在のレベル確認と今後の取り組みにつなげていくためのご指摘・ご指導をいただければと思い今回、応募致しました。 受賞に関しては大変光栄に思うと同時に、製造工場、営業部門および関係者においても、身の引き締まる思いであります。 今回を契機にさらなる製品安全に今後とも全社をあげて取り組んでまいります。



中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

名和興産株式会社

http://www.meiwakousan.co.jp

MEIWA

■事業内容:各種ヘルメット等の開発、製造

■所在地:本社/愛知県名古屋市 浜松工場/静岡県浜松市

■設立:1957年 ■代表者:代表取締役 児島 治男

■従業員数:50名[2012年9月現在]

受賞企業コメント

当社は各種ヘルメットの開発製造を中心に、安全用品全般の販売をしています。日頃からヘルメットは頭を守ることから人命を預かる重要な保護具であると認識し、物作りを行ってまいりました。今回の受賞はお客様をはじめ、取引先関係各社様の御協力によるものと感謝するとともに、私どもの製品安全活動をご評価いただき大変光栄に感じています。従来、作業用や自転車用ヘルメットは安全性の追求のみで製品化されている傾向があり、義務的な要素がありましたが、当社は「被るヘルメット」から「被りたくなるヘルメット」への変貌を目標とし、装着性やデザイン性を付加し、ヘルメットの普及を目指しておりました。その点からも今回の受賞ポイントでもある、自治体を通じての啓蒙活動や、ユーザーの意識に合った設計開発においても大きな励みとなりました。今後社員一致団結で、より一層の普及活動と製品安全活動への取り組みの強化を図っていきたいと考えております。

受賞ポイント

1 使用中の製品の検査・試験を行うことにより 更なる製品の安全性を確保

建設・道路工事、工場、バイク・自転車、スポーツなど様々な現場・用途で使用された実製品を入手し、検査を行って損傷状態や耐久性等を確認している。その情報をもとに更に安全性の確保に努めている。



衝擊吸収性能試験



耐貫通性能試験

2 自治体等に協力して 製品安全活動を積極的に展開

取引先である自治体や教育委員会の交通安全イベントに参加し、幼稚園や小学校で安全について指導するなど意識啓発を積極的に行っている。また、子どもの自転車用ヘルメットの着用率向上に向けて、子どもが好む色彩やデザインを調査して、自転車用と防災用を併用できるヘルメットなどの開発を行っている。

3 ユーザーニーズを反映した安全な製品を企画・開発

取引先や消費者へのアンケート調査の実施、展示会や講習会の開催など、ユーザーの声を積極的に収集して、ユーザーニーズを製品の企画・設計に反映させ、発光LED内蔵ヘルメットなど安全な製品の商品化につなげている。

担当者のことば

頭部を保護するヘルメットの生産を行っている当社の製品安全への取り組みを、専門家の方々に客観的に審査していただきたいとの思いで今回応募致しました。プレゼン、ヒアリングと慣れないことの連続で、日頃の安全活動について的確に伝えることができるか不安でしたが、当社の活動をご評価いただき、受賞することができ喜びの気持ちで一杯です。また、準備の段階で社内資料があまり整理されてないため、過去の資料が活かされてなく、新しい材料が生まれた点で資料の管理方法を見直せたことや、営業と工場のコミュニケーションの大切さを考える良い機会にもなりました。また、審査員の方々のアドバイスは大変参考になり、今後も全社員参加で製品安全文化の構築に取り組んでいきたいと考えております。



優良賞

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

長谷川工業株式会社

http://www.hasegawa-kogyo.co.jp



■事業内容:総合仮設機器、家庭用作業用品、イベント機材、自動車用品、園芸用品の 製造、販売

■所在地:大阪府大阪市 ■設立:1963年 ■代表者:代表取締役社長 長谷川 泰正

■従業員数:194名[2012年9月現在]



受賞企業コメント

長谷川工業は1956年の創業以来、働く方の大切な"足場"となって様々なシーンで活躍する「はしご」「脚立」「作業台」を開発・提供して56年目を迎えました。本物の道具を求める現場において、使う人の安全と満足を第一に考え、現場でのヒアリングやユーザーとの直接対話を通じ、一切の妥協を許さない丈夫な製品づくりに取り組んできました。また、事故を未然に防ぎ、安全向上のため独自の安全講習会を開催。今までに約2000名の方が受講されています。第一線のプロにも愛される、確かな技術と品質。それは、ハセガワブランドの変わることのない原点であり、誇りでもあります。このような取り組みを評価していただき、この度「優良賞」を受賞することができました。長谷川工業は、今後も「お客様第一主義」の理念のもと、使う人の安全と満足のため、今回の受賞はこれまでの取り組みの進化における一つの通過点と位置づけ、全社一丸となって、製品安全活動の取り組みを発展させ続けてまいります。

受賞ポイント

1 現場での使用実態などを踏まえて安全な製品を企画・開発

現場での実際の使い方や利用者の要望など、様々な職業のユーザーと定期的に会合を開催し、そこで得た情報を基に、安全な製品を企画・開発している。



安全点検活動の実施



使用前点検の重要性を講習会にて説明

2 安全点検活動を通じて 使用前点検等の重要性を啓蒙

取引先ユーザー企業の要望に応じて、製品の安全点 検を実施しており、使用前点検の重要性などを説明し、ユーザーの意識啓発に努めている。

3 製品を安全に使用してもらうための情報を発信

取引先に対する安全講習会、展示会での実演のほか、事故事例 や安全な製品を選ぶポイントなどを説明している。また、ホームセンター等でのPOP掲載、自社ホームページでの情報発信など、安全に使用してもらうための情報を積極的に発信している。

担当者のことば



創業時より継続して「安全製品を通じて広く社会に貢献する」をモットーに従業員一同が取り組んで参りました。市場も大きく変わり顧客ニーズも多様化する現在では、海外製品や安価な製品との競争も非常に厳しさを増しております。しかしながら安全に対する意識や安心感を求めるニーズはより一層高まっていることを感じます。そこで、弊社の安全に対する取り組みを第三者公的機関にて検証していただくことで今後の改善や意識改革につなげていきたいとの思いで応募致しました。結果、優良賞を受賞することができ従業員全員が今までの取り組みが間違っていなかったことに自信を持ち、更には受賞に恥じない企業を目指すことを強く意識するようになりました。これからも安全で付加価値のある商品を継続的に提供し社会貢献していきたいと思います。



中小企業 小売販売事業者部門

有限会社 協和電気商会

■事業内容:家庭用電化製品の販売、修理、サービス全般

■所在地:千葉県四街道市

■設立:1976年 ■代表者:代表取締役 佐藤 英雄

■従業員数:6名[2012年9月現在]

受賞企業コメント

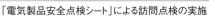
当社は家庭用電化製品を中心に住まいと暮らしの総合サービスを行っている地域密着の「街の電気店」です。 創業してまだ36年ですが、この道一筋で地域に貢献してまいりました。 時代の流れで街の専門店が少なくなり、超大型店が増加しております。 大型店ではできないきめ細かい営業、サービス活動がまだまだたくさん残っています。 最近は商品の価格合戦ですが、安く売るだけではなく、正しく表示しているか? 安全安心を重視しているか? 特に高齢者の皆様が理解できているか? など、当社では正直に説明するように心掛けております。 規模の小さな電気店ですが、地域一番店のお客様のオンリーワンの店を目指して、日々活動していきたいと思います。 また「地元で一番親切で信頼のできる電気屋さん」と評価されることが一番の喜びです。 「誠意と熱意でおつきあい」をモットーに、これからも継続していく方針です。 この精神を忘れずに「地域で一番頼りになる店」として活動していきたいと考えております。

受賞ポイント

1 訪問時に他社製品を含めた製品の安全性を確認

訪問時に「電気製品安全点検シート」を持参し、他店で購入した製品も含めて、所有している家電製品の使用状況を確認するとともに、リコール商品の有無も併せて確認している。また、他社製品の修理対応、製造メーカーへの取り次ぎも実施している。









「訪問時の安全点検」

2 お客様の生活実態に合わせた製品の提案

高齢者や一人暮らしのお客様を多く抱える中で、お客様の生活実態(使用者の特徴や利用環境)に合わせて家電製品を提案している。

3 地元の製品安全教育に貢献

自治体からの要請によるイベント (家電相談会、高齢者向け 製品安全対策会、地元中学校の職場体験)への協力を通じ、 製品安全教育に貢献している。

担当者のことば

2012年6月の説明会に参加して、即社内会議を開きました。製品の安全対策は当社の基本理念でもあります。会議の結果、経営方針も一致しましたので応募を決定しました。これまでの取り組みを整理したうえで、アピールポイントを確認し、応募書類を作成しました。また、過去に受賞された和歌山県のナルデン様にもアドバイスをいただきました。審査期間は夏商戦の真っ只中であり、二次審査に臨むことは大変な重圧になりましたが、全社員の協力で乗り越えることができました。受賞後、各方面より多くの反響があり、お客様からこれ以上に頑張るようにとの嬉しいメッセージをいただきました。これからも"誠意と熱意"を持って積極的に職務に取り組むよう、一層努力致します。



受賞記念イベント

2012年11月9日(金)に渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにて「第7回 製品安全総点検セミナー」が開催されました。その中で、「第6回 製品安全対策優良企業表彰」の表彰式を行いました。

表彰式では、本多経済産業大臣政務官より経済産業大臣賞受賞企業に表彰状と記念盾が授与されました。続いて豊永商務流通保安審議官より商務流通保安審議官賞受賞企業に表彰状が授与されました。また、向殿審査委員長より優良賞受賞企業に表彰状が授与されました。







応募企業アンケート結果

本年度のWEBエントリー・応募企業を対象にアンケートを実施しました。 ここではアンケート結果のうち、多く寄せられた回答の一部をご紹介いたします。 今後、応募を検討される際のご参考になさってください。

Q1. 今回応募した理由・動機をお聞かせください

- A.●自社の製品安全対策を客観的に評価したい。
 - ●自社の製品安全対策のレベルを向上させたい。
 - ●社内での製品安全に対する意識を向上させたい。

Q2.審査過程における社内の変化をお聞かせください

- A.●自社の製品安全活動を整理することで、現状を把握することができた。
 - ●自社の製品安全に関する改善点や課題が明確になるとともに、力を入れている点を再確認できた。
 - ●全ての部署の取り組みを把握することで今後の体制を見直す良いきっかけになった。

Q3. 送付した「審査結果レポート」のご感想をお聞かせください

- A. ●自社の取り組みに対して、第三者のコメントをいただくことで、自社の強みと弱み、 今後の課題が明確になった。
 - ●これまでの取り組みに高い評価をいただき、製品安全活動の大きな励みになった。
 - ●客観的な指摘により、自社の製品安全活動の方向性が間違っていないことを再認識した。

Q4. 受賞後の社内・社外からの反響、受賞したことによる効果等をご紹介ください

- A. ●他社から情報交換会の依頼を受けたり、 同業他社から製品安全の取り組み内容について問い合わせを受けた。
 - ●取引企業や関連団体から受賞を高く評価された。
 - ●社員の製品安全に対する認識がより高まった。

製品安全対策優良企業表彰ホームページ

http://www.ps-award.jp

過去受賞企業アンケート結果

第1回から第5回の受賞企業を対象にアンケートを実施しました。 ここではアンケート結果のうち、多く寄せられた回答の一部をご紹介いたします。 今後、応募を検討される際のご参考になさってください。

Q1. 受賞したことによる、社内の体制・取り組みの変化をお聞かせください

- A.●受賞企業としての誇りを持って業務に取り組めるようになり、 モチベーション向上の効果があった。
 - ●従業員の意識向上と、製品への安全配慮の徹底を図ることができた。
 - ●製品安全の取り組みの重要性を再認識することができた。
 - ●受賞企業をはじめとして他社品質保証部門との交流が増え、 異業種での製品安全に関する情報交換を行う機会が増加した。

Q2. 受賞したことによる、ビジネス上のメリットをお聞かせください

- A.●業務委託先にも、製品安全活動に対して一層の協力体制を築いていただくことができた。
 - ●顧客および取引先に対する信頼度が向上した。
 - ●自社の製品安全活動をお客様、社外へアピールすることができた。
 - ●受賞や受賞に至る取り組み紹介などを商品リーフレットなどに掲載し、 海外販売会社を含めた営業やサービスでの販売促進活動に活用し、 顧客確保・拡大に繋がった。

Q3. 『製品安全対策優良企業表彰ロゴマーク』の活用例をご紹介ください

- A. ●名刺、ネームプレートへの掲載
 - ●企業紹介パンフレット、商品カタログへの掲載
 - ●自社ホームページ、CSR報告書への掲載
 - ●新聞広告、店頭ポスターへの掲載

『製品安全対策優良企業表彰ロゴマーク』活用事例のご紹介

受賞企業はロゴマークを用いて 広くPRすることができます。



製品安全対策 優良企業表彰ロゴマーク



【株式会社イトーヨーカ堂】 店舗における看板のぼり



【株式会社丸五】 商品展示説明会での受賞告知POP、のぼり



【株式会社ヤマグチ】 封筒



【YKK AP株式会社】 ホームページ



【上新電機株式会社】 店舗におけるポスター



【株式会社ニトリ】

【過去受賞企業紹介】※企業情報は受賞時のものです。

第1回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

製造事業者・輸入事業者部門 ■大企業

日立アプライアンス株式会社

■事業内容:総合空調及び家電製品の開発・製造・販売

■所在地:東京都港区(本社)

銀 賞 株式会社アシックス

■事業内容:各種スポーツ用品および各種レジャー用品の製造および販売 ■所在地:兵庫県神戸市(本社)

セイコーエプソン株式会社

■事業内容:情報関連機器、電子デバイス等の開発・製造・販売・サービス

■所在地:長野県諏訪市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

株式会社ビックカメラ

■事業内容:カメラ、パソコン、家電製品、スポーツ用品等の販売

■所在地:東京都豊島区(本社)

銀賞・イオン株式会社

■事業内容:総合小売業

■所在地: 千葉旦千葉市(木社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

大塚製靴株式会社

■事業内容: 靴の製造・販売

第2回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

株式会社バンダイ

■事業内容: 玩具、模型、食玩、生活雑貨、アパレルなどの企画、製造、販売

■所在地:東京都台東区(太社)

銀 賞 富士ゼロックス株式会社

■事業内容:オフィス機器(複写機・複合機、プリンター等) およびサービス・ソリューション商品の開発、生産、販売 ■所在地:東京都港区(本社)

三菱電機株式会社

■事業内容:エレクトロニクス・エネルギー・宇宙・通信・家電・半導体など、電気機器の開発、製 造、販売 ■所在地:東京都千代田区(本社)

IDEC株式会社

■事業内容: 制御機器製品、制御装置及びFAシステム製品、制御用周辺機器製品、防爆・防災 関連機器製品、その他の電気機械器具の製造、販売 ■所在地:大阪府大阪市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

上新電機株式会社

■事業内容:家電製品、情報通信機器、エンターテインメント商品及び住宅設備機器の販売、配送、据付・修理及び保守業務 ■所在地:大阪府大阪市(本社)

銀賞株式会社ニトリ

■事業内容:家具・インテリア・ホームファニシング商品の企画販売、新築住宅のコーディネート、海外直輸入品・海外開発商品の販売、広告・宣伝事業 ■所在地:北海道札幌市(本社) 東京都北区(本部)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

銀賞株式会社ハート

■事業内容:オーガニック繊維製品(布団、タオル、肌着)などの企画、販売

■所在地:高知県高知市(本社)東京都千代田区(東京事務所)

日本宅配システム株式會社

■事業内容: 宅配ボックスの製造、販売、管理 ■所在地:愛知県名古屋市(本社)

第3回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

大臣賞 東芝テック株式会社

■事業内容:ドキュメントシステム (複合機、ファクシミリ) およびリテールソリューション (POS、レジスター)製品の開発、生産、販売 ■所在地:東京都品川区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社アシックス

■事業内容:各種スポーツ用品および各種レジャー用品の製造および販売 ■所在地:兵庫県神戸市(本社)

商務流通審議官賞 ソニー株式会社

■事業内容:オーディオ、ビデオ、テレビ、コンピュータ、情報通信関連機器、半導体、記録メディアなどの研究、開発ならびに販売
■所在地:東京都港区(本社)

株式会社クレハ

■事業内容:機能製品(炭素繊維、機能樹脂)、化学製品(農薬、医薬品)、 樹脂製品(家庭用ラップ)の製造、販売 ■所在地:東京都中央区(本社)

小売販売事業者部門

株式会社エディオン

■事業内容:家電、情報通信機器等の販売 ■所在地:大阪府大阪市(本社)

株式会社良品計画

■事業内容: 「無印良品」を中心とした専門店事業の運営、商品企画、開発、製造、卸しおよび販売 ■所在地:東京都豊島区(本社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

🍍 フットマーク株式会社

■事業内容:介護用品/ヘルスケア用品・用具・出産用品、スイミング用品・用具/ブール備品・遊具、心身教育ウェアの企画、製造、販売 ■所在地:東京都墨田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社アペックス

■事業内容:輸入・国内商品の企画開発、ソーシングマーケティング、販売プロデュース業務 ■所在地:群馬県高崎市(本社)

優良賞 有限会社坂本石灰工業所

■事業内容: 食品乾燥剤、工業用石灰、農業用石灰など石灰製品の製造、販売 ■所在地: 能本県玉名市(本社)

日本フイルム株式会社

■事業内容:各種ポリエチレンフィルム(自治体指定ごみ袋、水切りポリ袋等)製造、販売 ■所在地:大分県大分市(本社)

■中小企業 小売販売事業者部門

🦳 株式会社ヤマグチ(でんかのヤマグチ)

■事業内容:家庭用電化製品、OA機器、住宅設備機器等の販売、設計、施工 ■所在地:東京都町田市

商務流通審議官賞 株式会社タケシゲ(サウンドサカタ)

■事業内容: 家庭用電化製品販売・修理・設置、PC 関連セットアップ、白物家電製品販売・取付 工事 ■所在地:東京都練馬区

商務流通審議官賞 有限会社永谷テレビサービス(ライフページ・ナガタニ)

■事業内容:家庭田雷化製品販売・修理・設置

■所在地:山口県宇部市

長良賞 株式会社ダイプロ

■事業内容:ガス(プロバン・ブタン)、ガス器具類、日用品、住宅設備機器の卸売販売、建設工事業 (リフォーム中心) ■所在地:大分県大分市

株式会社パナ・トップ

■事業内容:テレビ、冷蔵庫、エアコン等家庭用電化製品の販売、修理

■所在地:新潟県新潟市

第4回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

■大企業 製造事業者・輸入事業者部門

業大臣賞 YKK AP株式会社

- ■事業内容: 住宅建材、ビル建材、その他アルミ形材等の設計、製造、施工および販売
- ■所在地:東京都千代田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社INAX

- ■事業内容:タイル・建材、住宅設備機器、事業開発
- ■所在地:愛知県常滑市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

三黨 上新電機株式会社

- ■事業内容: 家電製品、情報通信機器、エンターテイメント商品、住宅設備機器等の販売と附帯事業
- ■所在地:大阪府大阪市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ニッセン

- ■事業内容:婦人服を中心とした衣料品、インテリア雑貨、和装品などのインターネット・カタログ通信
- 販売 ■所在地:京都府京都市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ベネッセコーポレーション

- ■事業内容:教育、出版、通信販売事業等
- ■所在地:岡山県岡山市(本社)

■中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

🦳 株式会社相田合同工場

- ■事業内容: 農具、鍬類、鍛造諸刃物の製造および販売
- ■所在地:新潟県三条市

商務流通審議官賞 エビス株式会社

- ■事業内容:歯ブラシ日用品、プラスチック家庭用品の製造および販売
- ■所在地:奈良県大和郡山市

■中小企業 小売販売事業者部門

奈良日化サービス株式会社

- ■事業内容:住宅機器の販売、施工、修理・サービス
- ■所在地:奈良県大和郡山市(本社)

商務流通審議官賞 有限会社池田電気

- ■事業内容:家庭用電化製品販売・修理・設置
- ■ず来内古・家庭//電池表 ■所在地:愛知県尾張旭市

商務流通審議官賞 有限会社ナルデン

■事業内容: 家庭用電化製品販売・修理・設置、オール電化、太陽光発電、リフォーム全般、介護 用品・福祉用具の販売・レンタル ■所在地:和歌山県和歌山市

■団体部門 団体特別賞 あんしん高度化ガス機器普及開発研究会

- ■事業内容:ガス機器の安全性の研究・検討
- ■研究会メンバー:日本ガス体エネルギー普及促進協議会 ガス機器メーカー。(財)日本ガス機器検査協会、キッチン・バス工業会、(計)日本厨房工業会、日本製パン製菓機械工業会、ガス警報器工業会、消費者代表者

第5回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業

製造事業者・輸入事業者部門 ■大企業

レノボ・ジャパン株式会社

- ■事業内容:パーソナルコンピュータ、サーバー、ワークステーションおよび周辺機器の製造、販売
- ■所在地:東京都港区(本社)

商務流通審議官賞 ソニー株式会社

コンスーマープロダクツ&サービスグループ VAIO&Mobile事業本部

■事業内容:パソコン、タブレット、ポータブルオーディオ、ポータブルナビ、電子書籍の設計、企画、 マーケティング等 ■所在地:長野県安曇野市

商務流通審議官賞 TOTO株式会社

- ■事業内容:住宅設備機器、新領域事業商品(環境建材、セラミック製品)の開発・製造 ■所在地:福岡県北九州市(本社)

■大企業 小売販売事業者部門

株式会社イトーヨーカ堂

- ■事業内容:総合スーパー(GMS)・住居品・衣料品・食料品小売販売
- ■新来内台·総占人一八一(GINS)
 ■所在地:東京都千代田区(本社)

商務流通審議官賞 株式会社ニトリホールディングス

- ■事業内容:家具・インテリア用品の販売チェーン、トータルコーディネート販売、海外製造開発輸入
- 推進 ■所在物: 東京都北区(木部)

商務流通審議官賞 株式会社ビックカメラ

- ■事業内容:カメラ、パソコン、家電製品、スポーツ用品等の販売
- ■所在地:東京都豊島区(本社)

製造事業者・輸入事業者部門 ■中小企業

アキュフェーズ株式会社

- ■事業内容: 高級民生用音響機器、業務用音響機器の開発・製造
- ■所在地:神奈川県横浜市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社川口技研

- ■事業内容:住宅関連金物(レバーハンドル、物干金物)および網戸、各種化成品等の製造・販売
- ■所在地:埼玉県川口市(本社)

商務流通審議官賞 株式会社丸五

- 事業内容:靴(安全シューズ、地下足袋、作業靴、長靴)、手袋の開発・製造
- ■所在地:岡山県倉敷市(本社)

バッグワークス株式会社

- ■事業内容: 鞄、袋物類の製造および販売
- ■所在地:兵庫県豊岡市

■中小企業 小売販売事業者部門

🎍 びーんず株式会社

- ■事業内容:家庭用電化製品の販売、修理、サービス全般
- ■所在地:兵庫県西宮市

第 5 回 受 賞 企 業 インタビュー

私共にとって製品安全対策優良企業表彰プロ グラムのメリットは、受賞による栄誉はもとより審 査を受けることによって得られる「気づき」が大き

応募に際しては是非積極的にこのメリットを 享受することをお勧めします。



レノボ・ジャパン株式会社 標準技術マネージャー/田川 徹也氏

本表彰の受賞後、社内の製品への安全に対す る認識がさらに高まっただけではなく、課題解決 への取り組みが迅速になりました。また、社外 の取引先や協力会社の信頼度が向上し、製品 安全活動をさらに協力していただけるようになっ ています。



アキュフェーズ株式会社 品質保証部 部長/八木 徹氏

製品安全対策優良企業表彰ホームページ

http://www.ps-award.jp

■製品安全対策優良企業表彰事務局 Tel:03-5288-6583

